

福島商工会議所報 ふくしま8月号

平成二十九年八月十日(毎月一回十日発行)

第七六七号 発行人 福島市三河南町一丁目二〇 コッセふくしま八階 福島商工会議所 ☎(024)5361551 印刷 株式会社日進堂印刷所

# ふるさとの 元気を支えて1世紀。

平成29年

# 100<sup>th</sup> Anniversary

おかげさまで 平成29年  
福島商工会議所 創立100周年。

# Fukushima

福島商工会議所報  
Fukushima Chamber of Commerce and Industry

ふくしま

VOL.767



2017

【特集】

## 生産性の向上について考える

～現場力の維持と人材の確保のために～



ふるさとの元気を支えて1世紀。

## Topics & Report

[特集] 生産性の向上について考える  
～現場力の維持と人材の確保のために～ **2**

[創立100周年記念事業] 福島商工会議所 創立100周年記念事業のご報告 **7**

[永年勤続優良従業員表彰式] ～永年の功績を称えて～  
平成29年度会員事業所 永年勤続優良従業員 表彰式 **8**

[不動産ひとくちコラム] (寄稿)スポーツの価値を高めるために **9**

## Information

[こちら中小企業相談所] 「福島創業スクール」のご案内 **10**

[会員ビジネスボード] みとみ学園ライセンスアカデミー福島校 他 **11**

[会議所のうごき] 金融相談会 他 **12**

[中小企業景況調査結果] 平成29年4月～6月期の調査結果 **13**

[新会員のご紹介] **14**

[女性会 まどか 圓・青年部トピックス] 東北六県商工会議所女性会連合会 米沢総会への参加 他  
7月定例会「ANB33」～ビジネスマッチング～を開催 **15**

[東北中央自動車道がつなぐ] 相馬・米沢広域観光情報 **16**

今月の  
表紙



福島商工会議所創立100周年特別企画  
「所報で振り返る『ひと・まち・えがお100年』」

今月の表紙：「福島駅前東口の再開発事業の様子」(昭和48年)  
昭和40年代半ば、交通の重要拠点である福島駅前栄町地区を商業の中心地とするべく福島の都市再開発が進められていました。写真は昭和48年、福島駅から建設中の辰巳屋ビルを撮影したものです。同年11月、辰巳屋ビル、隣接する平和ビル(山田百貨店が入居)が完成し福島初の大型デパート2店が営業を開始すると、福島市民の消費行動や中心市街地の商業形態が大きく変化していったのでした。

## 平成29年度下半期 福島商工会議所検定試験日一覧

検定試験名		試験回	実施級	試験日	申込期間
日本商工会議所主催	簿記	第147回	1～3級	11月19日(日)	9月11日(月)～10月16日(月)
		第148回	2～3級	H30.2月25日(日)	12月18日(月)～H30.1月22日(月)
	リテールマーケティング(販売士)	第81回	1～3級	H30.2月21日(水)	12月18日(月)～H30.1月22日(月)
	珠算	第211回	1～3級	10月22日(日)	8月14日(月)～9月21日(木)
第212回		1～3級	H30.2月11日(日)	12月4日(月)～H30.1月11日(木)	
東京商工会議所主催	カラーコーディネーター	第43回	1～3級	12月3日(日)	9月19日(火)～10月20日(金)
	ビジネス実務法務	第42回	1～3級	12月10日(日)	9月26日(火)～10月27日(金)
	福祉住環境コーディネーター	第39回	1～3級	11月26日(日)	9月12日(火)～10月13日(金)
	E C O(環境社会)	第23回	—	12月17日(日)	10月3日(火)～11月2日(木)
	ビジネスマネジャー	第6回	—	11月12日(日)	8月29日(火)～9月29日(金)

■日本商工会議所の検定試験についての詳細は

【ホームページ】<http://www.kentei.ne.jp> または【検定情報ダイヤル】03-5777-8600

■東京商工会議所の検定試験についての詳細は 【ホームページ】<http://www.kentei.org/>

## 平成29年度 所報「ふくしま」 広告募集のご案内

平成29年度10月号以降の掲載広告を募集しています。

- ◆発行日 毎月10日(年12回)
- ◆発行部数 約4,500部
- ◆発送先 会員事業所、全国商工会議所、図書館、関係団体他
- ◆募集期間 平成29年10月号～平成30年3月号
- ◆1コマのサイズ及び掲載料(1回分の料金です)

広告枠	毎月の掲載数(目安)	広告スペース(縦mm×横mm)	掲載料金(税込)
① 表紙裏1/2ページ	2	124×170	40,000円
② 裏表紙裏1/2ページ	2	124×170	40,000円
③ 記事1ページ	1	258×170	50,000円
④ 記事1/2ページ	4	124×170	30,000円
⑤ 記事1/4ページ	8	58×170	20,000円

※全てモノクロでの掲載となります。掲載イメージは本誌をご覧ください。

- ◆原稿締切 掲載する月の前月15日頃になります。
- ◆申込方法 まずは商工サービス課までお電話ください。☎572-7116



# 生産性の向上について考える

～現場力の維持と人材の確保のために～

人口減少社会における中小企業の最大の経営課題は「人手不足」。現場力を維持し、経済規模の縮小を防ぐためには、個々の企業が「生産性の向上」と「人材の確保・育成」の双方に取り組みなければなりません。

今月は、会員の皆様に課題克服に向けた取り組みの参考事例等をご紹介します。

## 日本は生産性が低い国？

「公益財団法人日本生産性本部」が定期的に発表している労働生産性に関する国際比較の結果などから、日本は他の先進国に対し、国民一人あたりのGDPが低いことが明らかになっていますが、その主な要因として以下の2点が挙げられます。

### ① ホワイトカラーの生産性が看過されてきた

トヨタの「カイゼン」に知られるように、日本の製造の現場では生産性の向上を日々追及し実績を上げてきた一方、事務や営業等の間接部門や他業種における業務の可視化は看過されがちでした。

現在も「どのよう働いているのか」「何にどれほどの時間を要しているのか」についてデータの収集・分析が進められておらず、成果を主観で判断せざるを得ない企業が少なくありません。

### ② 女性・非正規雇用者・再就職希望者などが活躍できる環境の不備

長時間労働の常態化、子育て・介護等との両立を実現する環境の不備、再就職希望者と企業のマッチング機能が弱いことなどにより、635万人と推計される潜在的労働力が活かされていません。「働き方改革」は生産性の向上と両輪で推進しなければならない取り組みです。



## 「生産性の向上」は規模・業種を問わず取り組むべき急務

生産性の向上を目指す上で具体的な取り組みとして、

- ・コストの削減
- ・技術革新
- ・新商品・新サービスの開発
- ・業務改善
- ・人材の確保

など様々な項目が挙げられます。地方の零細企業について特筆すると、今後は更に人手不足が深刻化していくことが明らかであり、業務の効率化を通じて、社員の健康やライフプランに配慮した働きやすい職場づくりを推進することが重要なポイントとなります。その実現のための具体的方策の一例として、以下の2点を紹介します。



## 1. 国の助成金を活用したIT・IoTシステムや機材の導入

限られた人手の中で業務の効率化や利益の拡大を図るためには、ITやIoTを駆使したシステムの導入やマンパワーの代替となる機材の導入が効果的です。

厚生労働省「生産性向上の事例集」では、「業務改善助成金(表1)」や業界団体を対象とした「業種別中小企業団体助成金(表2)」を活用し、生産性の向上や従業員の賃金の引き上げを行った事例を紹介しています。

### 厚生労働省「生産性向上の事例集」より

#### 事例1

#### 「POSレジシステムの導入」

所在地：福岡県

従業員：10～19人／食品小売業者

「300種類に上る取扱商品の販売管理を紙ベースで行っていたため、顧客の購買動向をつかむことが困難。売れ筋商品の動向分析のため、助成金を活用してPOSレジシステムを導入」

←導入の成果は…

- ・早く正確な受注で売り上げが5%アップ！
- ・蓄積したデータから従業員のアイディアを活用し、商品開発の検討が可能に！

## 表2 「業種別団体助成金」

全国規模または都道府県規模の業種別中小企業団体が、傘下企業の賃金引上げを目的として、販路拡大のための市場調査、新たなビジネスモデル開発など労働能率増進のための取組を行う場合に、その経費が助成される。

#### □対象となる経費

- ・中小企業団体による
- ・市場調査の実施
- ・新たなビジネスモデル開発、実験
- ・共同購入エネ、IT導入、コスト削減の実験
- ・下請取引適正化への理解促進
- ・販路拡大などの実現を図るための展示会開催、出展事業
- ・その他賃金引上げに資すると認められる取組

#### □対象業種

飲食店・理美容業・宿泊業・医療業・娯楽業・総合工事業・印刷業・職業紹介業・不動産賃貸業など33業種

#### □助成の上限額等

全国規模の団体は2,000万円まで、都道府県規模の団体は1,000万円まで ※今年度の計画承認申請は7月14日に終了しています 詳細は厚生労働省のホームページで確認してください。

表1

## 「業務改善助成金」

中小企業・小規模事業者の生産性向上を支援し、事業場内で最も低い賃金(事業場内最低賃金)の引上げを図るための制度。生産性向上のための設備投資やサービスの利用などを行い、事業場内最低賃金を一定額以上引き上げた場合、その設備投資などにかかった費用の一部が助成される。

#### □支給対象者

事業場内最低賃金が1,000円未満の中小企業・小規模事業者(過去に受給したことのある事業場も対象)

#### □支給要件

- ① 事業実施計画を策定すること
- ② 賃金引上げ計画／業務改善計画(生産性向上のための設備投資などの計画)
- ③ 引上げ後の賃金額を支払うこと
- ④ 解雇、賃金引下げ等の不交付事由がないことなど

□助成の上限額等(詳細要件有)  
50万円～200万円

申請書式・助成金支給までの流れ、申請に関するご相談窓口等詳細は、厚生労働省「業務改善助成金特設サイト」(<http://www.mhlw.go.jp/gyomuikaizen/#how>)にて確認してください。



### 事例2

#### 「リフト付特殊車両送迎車の導入」

所在地：長野県

従業員：30～49人／介護事業者

「車椅子を使用している介護サービス利用者の送迎は大変な重労働であり、その負担軽減のため、助成金を活用してリフト付特殊車両送迎車を導入」

←導入の成果は…

- ・半分の人員で送迎ができるように！
- ・より付加価値の高い業務に人と時間をかけられる人員体制を構築！



### 事例3

#### 「機材導入で外注業務を内製化」

所在地：愛媛県

従業員数：20～29人／歯科診療所

「外注先に発注していた義歯の作製を、助成金を活用し自分達で作製できる機器を導入」

←導入の成果は…

- ・作製期間が劇的に短縮！
- ・患者のニーズへのきめ細やかな対応が可能となり、顧客満足度が向上！
- ・大幅なコスト減を実現！



## 2. 人材確保・育成のための国の制度の活用

(P4～5を参照してください)

#### P4～5

「生産性向上人材育成支援センター」

(ポリティクセンター福島)の活用

#### P5

「ジョブ・カード制度における有期実習型訓練」(福島県地域ジョブ・カードセンター)の活用



# ポリテクセンター福島内 生産性向上人材育成支援センター(生産性センター)が始動!

ポリテクセンター福島では、技能・技術分野を対象とした「能力開発セミナー」や、職業訓練指導員の企業への派遣など、従来からの企業支援に加え、本年4月から「生産性向上人材育成支援センター」(以下、「生産性センター」)を開所しました。その概要や取り組みについて、ポリテクセンター福島所長 丹治健さんをお訪ねし、お話を伺いました。

## 「生産性センター」とは

国の政策による当機構の新たな事業であり、その名のとおり現場の生産性の向上や人材育成をお考えの事業主様に対し、課題の洗い出しや具体的な「生産性向上支援訓練」の内容の策定までをご支援します。7月現在では、訓練の実施機関(※)を選定しており、市内の企業の訓練実施は10月頃から開始する見込みで準備を進めています。



お話を伺った丹治所長(左から2番目)他、センターのみなさん

## あらゆる業種の実産性向上を支援

「生産性センター」の大きな特徴のひとつに、今まで当機構が実施してきた事業とは異なり、サービスや金融など「ものづくり系」だけではないあらゆる業種が対象となることが挙げられます。

今まで、製造の現場は明確なフレームを持って生産性の向上に取り組んできた歴史と実績がありますが、間接部門や営業や事務を主とする業界では確立されてきませんでした。現在、そしてこれからの人口減少社会で企業が存続、成長していくためにはあらゆる業務の「見える化」を進め、客観性をもった現状の評価や課題の把握が不可欠ではないでしょうか。

## 「生産性向上支援訓練」に期待できること

一定の訓練を受けると即生産性が上がるのか、と聞かれますとそう簡単なものではないのですが、有効な足掛かりとなることは間違いありませんし、訓練の策定を進める中で、今まで曖昧であっ

た業務の「見える化」や人材育成の体系の構築が可能になるのではないかと思います。また、昨今の学生や若年の求職者の多くは、キャリア形成への関心が高く、ホームページを活用して自社を明確に発信している企業や、入社してからのキャリアアップをイメージできる企業を選ぶ傾向がありますので、人材の確保においても一助となるのではないかと思います。

## 「生産性向上支援訓練」

- ・ 企業の生産性向上に必要な生産管理、品質管理、原価管理、物流、IoT、マーケティング等に関する知識・スキルを習得するための訓練
- ・ 新任層から管理者層まで、幅広い階層に対する訓練カリキュラムが提案可能
- ・ 条件をみたせば「人材開発支援助成金」が利用できる

## 「生産性向上支援訓練」受講までの流れ

- 1 課題の洗い出し  
生産性向上のための自社における課題を抽出します(当センターが支援)。
  - 2 訓練コースの決定  
課題解決のためのカリキュラムの提案や日程等を調整し、訓練コースを決定します(当センターが支援)。
  - 3 実施機関の選定(※)  
訓練実施機関は当センターではなく、当センターが募集、選定、契約を行った民間の機関等になります。当センターは受講希望者・事業主と訓練実施機関の間で訓練の実施方法等を調整します。
  - 4 受講申込等  
受講する従業員が決まり次第、当センターが事業主に請求書を発行、受講料を期日までに納入。
  - 5 訓練受講  
訓練当日は受講者は直接会場へ。当センターは現場の確認に伺います。
- ・ 個人での受講はできず、企業からの指示による申込に限ります。
  - ・ 訓練コースの設定には一定の条件があります。

## 福島の事業主のみならず

企業は利益を創出することができなければ、持続することはもちろんですが、将来のために人材を育てたり思い描く人材を確保することができません。今現在も、利益創出のため、コストの削減や新商品・新サービスの開発に真剣に取り組んでいらっしゃると思いますので、その方策のひとつに「生産性センター」のご活用を加えていただきたいと思います。

## 「ジョブ・カード制度」～有期実習型訓練～

生産性の向上に向けた人材の確保と定着を支援します。生産性の維持・向上を目指す上で、企業のニーズに合った人材の確保と育成は中・長期的に取り組まねばならない課題です。当所内に設置している「福島県地域ジョブ・カードセンター」では、「早期離職者が多い」、「効果的な研修・訓練の予算やノウハウがない」など、人材の確保や定着にお悩みの企業にお役立ていただくため、当制度における「有期実習型訓練」の活用を奨励し、様々な支援を行っています。

## 有期実習型訓練とは

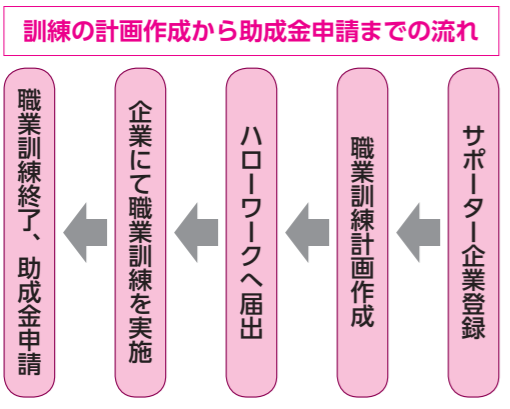
国の事業で、未就職者や非正規社員を正社員にするための施策です。ジョブ・カード(通常の業務とは区別して実施する座学等)と、ジョブ(事業所の通常の業務を通じた訓練)を効果的に組み合わせる職業訓練です。いずれは正社員としての雇用を検討している訓練生の適性を判断する際や、必要な職業能力の習得にお役立ていただく制度であり、訓練終了後には国の助成金を受給することができます。

## 訓練対象者の要件

正社員の経験が少ない非正規雇用労働者(中途採用者など)。  
※すでに正社員として雇用してしまった場合は対象外となります。

## 制度を利用するには?

まずは、「ジョブ・カード普及サポーター企業登録」をお願いいたします。業種・業態を問わず雇用保険を適用している企業であればエントリー可能です。



## 訓練を活用するメリット

- ① 訓練費用の助成金を受けることができる
- ② 訓練カリキュラムや評価シートを作成して実施するため、企業として新入社員に対する訓練システムが構築される
- ③ 新入社員が会社を挙げての訓練を実感するため、新入社員の会社に対する意識が高揚され、定着率のアップが図られる
- ④ 訓練指導担当者等をしつかり決めて実施するため、社内全体の社員育成に対する意識の改善が図られる

## 福島県地域ジョブ・カードセンター

当所内に設置したセンターでは、制度普及推進のため3名の選任職員がご相談に応じています。



本事業に関するお問い合わせは  
☎536-5570  
利用時間：月～金9時～17時





500名を超える会員様にご参加いただいた  
ビアパーティー



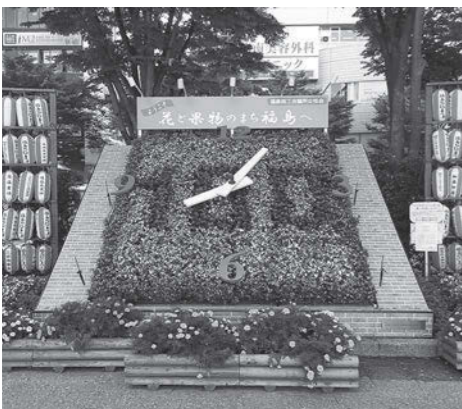
満員御礼！磯田氏より幕末維新期の  
福島の姿が軽妙に語られました。  
内容は次号にてお伝えします。



議員事業所にご協賛いただいた賞品で大いに沸  
いたお楽しみ抽選会

**福島商工会議所 創立100周年記念事業のご報告**  
〜多くの皆様参加とご協力、深く感謝申し上げます〜

**7・28 磯田道史氏による記念講演会と会員交流ビアパーティー**



創立「100」の文字が咲きそろいます。

**7・25 女性会が花時計を  
リニューアル！**  
「街の玄関口」のシンボルとして定着し  
た花時計。夜はライトアップでお楽しみ  
いただけるようになりました。



**7・9 福島競馬場第10レース  
「天の川賞」開催**

当所創立  
100周年記  
念レースとし  
て開催した  
「天の川賞」で  
は、横山典弘  
騎手の「スル  
ターナ」牝・  
5）が堂々の  
1着！

**参加者募集中です！**

**会員交流ゴルフ大会**

入賞者へは議員事業所にご協賛いただ  
いた豪華賞品を、また参加者全員に参加  
賞をご用意します。ぜひご参加下さい。

□日時 10月21日(土)各スタート30分前集合  
9時スタート

□場所 福島ゴルフ倶楽部 民報コース

□参加料 1名につき2,000円

1事業所につき1名様まで。

□定員 80名

□競技方法 新々ベリア9ホール隠し方  
式(無制限)／65歳以上は、シニア  
ティーからのプレーも可能

**福島商工会議所 創立100周年記念  
会員交流ゴルフ大会**

平成29年 10月21日(土)  
各スタート30分前集合・9時スタート

福島ゴルフ倶楽部  
民報コース  
福島市南郷字字庫11  
TEL:024-549-0244

新々ベリア  
9ホール隠し方式  
無制限

参加料：1名につき2,000円  
1事業所につき1名様まで  
定員：80名  
競技方法：新々ベリア9ホール隠し方式(無制限)／65歳以上は、シニアティーからのプレーも可能

申込書に記入の上、FAXでご送付ください。  
当料HPからもダウンロード出来ます。

9月21日

▶ご参加のお申し込みにつきましては本  
誌同封のチラシにてお願い致します。

お問い合わせは

商工サービス課 ☎572-7116



大切なこと。

家族、毎日の暮らし。

ふるさと、自然。

そしてエネルギーのこと。

ふだんの暮らしや、豊かなふるさととの自然。  
そして、暮らしに欠かせない大切なエネルギー。  
私たちは、いつも地域のこれからと、  
明日のエネルギーについて考えています。

より、そう、ちから。  
**東北電力**



「永年の功績を称えて」  
平成29年度会員事業所  
永年勤続優良従業員  
表彰式

当所は、去る7月28日にウエディングエ  
ルティにて、会員事業所53社において永年  
勤続された169名の方々の功績を称え、  
表彰式を実施しました。当日は約50名が  
ご出席され、渡邊博美会頭より表彰状と  
記念品を受け取りました。受章された皆  
様、誠にありがとうございました。  
※今年度の受章者の中で勤続30年以上の方々  
は別記のとおり。(事業所50首順・敬称略)



勤続50年 3名

- (株)大三 三品 智
- (株)大三 三品 絹子
- 多田建設(株) 亀岡 隆

勤続45年 1名

- 多田建設(株) 高城 幸雄

勤続40年 7名

- アルテクロス(株) 中村 良広
- 池田食品工業(株) 小池 光子
- (株)OKIデータMES 清野 好三
- (株)OKIデータMES 佐藤 浩明
- (株)サンビルド 今村 八夫
- 渋谷レックス(株) 石川 善弘
- 多田建設(株) 朽木 敏昭

勤続35年 19名

- アルテクロス(株) 松野 浩子
- アルテクロス(株) 小林 浩
- アルテクロス(株) 茅原 弘行
- (株)OKIデータMES 斎藤 誠次
- (株)OKIデータMES 嶋原 寛
- (株)菊屋の羊羹本舗 菊地ヒロ子
- (株)小関秀雄商店 片岡 宏之
- 佐藤工業(株) 佐藤祐次郎
- 佐藤工業(株) 鈴木 文彦
- サンヨー缶詰(株) 後藤 努
- 多田建設(株) 岡崎 義光
- 多田建設(株) 八巻 裕明
- 多田建設(株) 丹野 信義
- (株)東條製麺所 美容室りえ
- 福島貸切辰巳屋自動車(株) 伊藤 京子
- 福島市観光開発(株) 奥山 哲男
- 富久泉工業(株) 引地 輝美
- 寺島 高志

勤続30年 25名

- ワイチーエル(株) 一條 正治
- ワイチーエル(株) 大波 重光
- (株)OKIデータMES 佐藤 文勝
- (株)OKIデータMES 亀岡 寿行
- (株)OKIデータMES 齋藤 眞由美
- (株)OKIデータMES 齋藤 和雄
- (株)OKIデータMES 菊田 英弘
- (株)OKIデータMES 吉崎 悟
- (株)OKIデータMES 中村 佳子
- (株)後藤歯科商店 高橋 康仁
- (株)こんの 渡辺 弘明
- 多田建設(株) 牛谷 隆章
- (株)ニユーキムラヤ 伊東 一永
- (株)フクイチ 佐々木勢津子
- 福島ガス(株) 佐藤 昌弘
- 福島ガス(株) 佐々木善尚
- 福島ガス(株) 安田 正之
- (株)福島県ガス保安センター 鈴木 智浩
- 福島市観光開発(株) 二瓶 浩之
- (株)舟山商店 長谷川正志
- 文化設備工業(株) 石垣 朗
- 丸藤ガラス(株) 紺野 正一
- ワイチーエル(株) 郡司 英明
- ワイチーエル(株) 今野 淳子
- 佐々木勢津子 伊東 一永
- 佐藤 昌弘 佐々木善尚
- 安田 正之 鈴木 智浩
- 二瓶 浩之 長谷川正志
- 石垣 朗 紺野 正一
- 郡司 英明 今野 淳子
- 佐藤 文勝 亀岡 寿行
- 齋藤 眞由美 齋藤 和雄
- 菊田 英弘 吉崎 悟
- 中村 佳子 高橋 康仁
- 渡辺 弘明 牛谷 隆章
- 伊東 一永 佐々木勢津子
- 佐藤 昌弘 佐々木善尚
- 安田 正之 鈴木 智浩
- 二瓶 浩之 長谷川正志
- 石垣 朗 紺野 正一
- 郡司 英明 今野 淳子



「人財育成塾」東北技塾2017」開講のご案内  
～東北地区の製造業における高度な人材養成のための講座です～

「東北技塾」では、金属加工学、品質管理、生産管理など各分野について、大学、試験研究機関などから専門の講師を招き、技術・知識の講義のみならず、最先端で研究されている内容についても講義を行います。  
皆様の多数のご参加をお待ちしております。

**受講対象者**  
○工業高校卒業程度  
○各企業において、今後中核となることが期待されている技術者  
(右記は受講を制限するものではなく、ご希望であればどなたでも受講可能です。)  
**募集人員**  
40名(1講座あたり)



詳細は本誌同封のチラシにてご確認ください。

参加費  
1講座あたり1,000円  
(当日受付にて申し受けます)

申込期限  
平成29年9月27日(水)  
※期限後も随時受付致しますが、希望者多数の場合は先着順とさせていただきます。

不動産ひとくち  
不動産コラム  
ひとくち

「スポーツの価値を  
高めるために」

去る4月18日に、福島市のザ・セレクト  
トン福島にて、現スポーツ庁長官であり、  
2020年東京オリンピック・パラリン  
ピック競技大会組織委員会理事でもある  
鈴木大地氏より、「スポーツの価値を高  
めるために」の演題でご講演いただきま  
した。当日は福島県水泳連盟の方々を  
はじめ、約170名もの方々が集う盛大な  
記念講演会でした。



一方で、「でも東京と地方では温度差が  
あります」と長官としての悩みがあるこ  
とも話され、「大会前に各国選手に合宿  
して頂き、大会後も、各国選手に残っ  
ていただき、地方の子も達や地元の人  
達と触れ合うように出来たら、開催地東  
京以外の地方も盛り上がることでしょ  
う。そこを今は考えております」と対策やお  
考えを述べられました。

さらに鈴木長官は、「スポーツ庁は、  
オリンピック支援だけではなくのです」と  
と、新設されて未だ2年余りというス  
ポーツ庁の存在意義を高めることを強調  
されました。国の予算の中に占める医療  
費は大変高くなっており、スポーツを  
通じて国民が健康になっていただけ  
れば、その高い医療費を抑制する効果が  
あると考えております。スポーツを通じ  
て経済にも地域活性化にも貢献でき、  
なおかつ国民が健康になって長生きに  
なってもらおうのが、スポーツ庁の役割で  
もあるのかなと考えております」とご説  
明されました。

また、自身も高校3年生と大学3年生  
と2度オリンピック出場を経験し、2度  
目のソウルオリンピックで金メダルを獲  
得されましたが、常に選手生活は怪我と  
の戦いでもあり、メダルを取れるチャン  
スは一生に一度と思える練習に励まれたな  
どの回顧談もあり、参加者一同感銘を受  
けた講演会でした。

(支部会報より一部抜粋しました)

「県北技塾2017」開催スケジュール

場所：コラッセふくしま8階当所会議室  
時間：18：30～20：30  
※10/3は18：20～開講式

No.	開催日	講座名/講師
1	10/3(水)	非鉄金属材料学 日本大学工学部 教授 藤原 雅美
2	10/6(金)	腐食・防食の基礎 福島県ハイテクプラザ プロジェクト研究科 プロジェクト研究科長 杉内 重夫
3	10/10(水)	不良原因の解析手法 福島県ハイテクプラザ 工業材料科 主任研究員 矢内 誠人
4	10/12(木)	精密測定技術 福島県ハイテクプラザ 生産・加工科 専門研究員 緑川 祐二
5	10/17(水)	デジタル技術で理解を深める材料力学 福島県ハイテクプラザ 工業材料科 主任研究員 工藤 弘行
6	10/19(金)	生産管理の基礎 福島大学 共生システム理工学類 教授 樋口 良之
7	10/24(水)	品質管理の基礎 ものづくり支援アドバイザー 亀井 浩之
8	10/26(木)	原価管理の基礎 中小機構東北本部 震災復興支援アドバイザー 市川 昭男

**創業者応援のための融資制度**  
これから事業を始める方、創業5年未満の方にオススメの融資制度があります。

「公的保証」で中小企業を応援します！  
**福島県信用保証協会**  
福島営業店 Tel. 024-526-1530

例えば…福島県起業家支援保証制度(創業関連枠)ご利用の場合なら…最大1,000万円、最長10年のお借入が可能!!  
保証料率 0.35%と割安な上、福島市は保証料補助制度が充実!!(100分の80 最大50万円まで)



**申込み方法 掲載事業所募集中!**

<文章>と<画像>を、下記あてに郵送またはEメールにてお送りください。  
 ●文章を変えない範囲内で加筆、修正する場合がありますのでご了承ください。  
 ●掲載は、原則1社年1回に限らせていただきます。  
 ●誌面の関係上、掲載の採否・時期については当所にご一任願います。  
 ●掲載情報の詳細や取引に関しては、取引当事者間で直接ご連絡・交渉願います。万が一トラブルが生じて、その責任は負いかねます。

**掲載要領**

<文章> ●タイトル20字以内  
 ●本文230字以内  
 ●会社概要・問い合わせ先(社名、所在地、電話番号、FAX番号、Eメールアドレス、ホームページアドレス、担当部署・担当者名)  
 <画像> ●JPG・GIF画像、もしくはプリント写真・パンフレット等  
 ※Eメールに添付、もしくは記録媒体を利用してお送りいただくと幸いです。なお、写真は返却いたしませんので、ご了承ください。

**お申込・お問い合わせ**

福島商工会議所 〒960-8053  
 福島市三河南町1-20 コラッセふくしま8階  
 TEL: 024-536-5511 FAX: 024-525-3566  
 E-mail: fcci@fukushima-cci.or.jp



**聞いて遊んで“えいご”が話せる! 読める!**

ビー イングリッシュのだまちこども教室  
 福島市野田町6-4-44  
 TEL080-1840-4244  
 Mail be.nodamachi@gmail.com  
 駐車場 3台

**子どものうちから“えいご”に親しんで、自己発信力を磨こう!**

- ◇キッズマンマズ  
 パパ・ママと一緒にリズム遊びやゲームでえいごに親しもう!
- ◇小学生グループレッスン  
 テキストと英語の絵本で読む・書く・話すスキルをバランスよく!
- ◇プライベートレッスン  
 ご都合にあわせておひとりです!
- ◇英検対策クラス  
 受験級・日程にあわせて設定。筆記とリスニング・二次面接練習も!

本誌をみてご入会の方は入会金が無料になります。  
 詳しくはお問合せください。



**高齢社会に向け健康寿命を延ばすお手伝いを**

(JAA認定校)アロマセラピー&スクール「アチローズ」  
 福島市旭町1-13 佐藤ビル1階  
 TEL/FAX533-0226

開業16年の実績! ドクターサポート・薬剤サポートの店  
 当サロンでは下記のようなメニューで、ホリスティックセラピーに力を注いでいます。

- 心と身体と魂の癒し
  - アロマの資格を取得したい人の育成  
 JAAアロマコーディネーター資格  
 医療・介護関係者向けメディカルアロマインストラクター資格
  - 生活の質、人生の質をあげるメニュー  
 橋本式膝ケア、認知症予防、乳ガン予防トリートメント 他
- ご興味のある方、お話だけでも聴きたい方はお気軽にお電話ください。施術中で応答できない際は折り返しご連絡を差し上げます。

**無料情報 発信コーナー**  
**会員ビジネスボード**

自社の新商品、新サービスなど、何でもご紹介できる、会員限定の無料情報発信コーナーです。  
 掲載をご希望の際は商工サービス課  
 ☎ 572-7116 までお電話ください!!



**公務員受験対策セミナー開催!**

みとみ学園ライセンスアカデミー福島校  
 福島市太田町20-7 佐周ビル2階  
 TEL525-1023 (☎0120-190-303)  
 FAX525-1024  
 HP http://www.mitomi-gakuen.com/la/school/Fukushima.html

**公務員を目指す方必見! 高校生~社会人 保護者の参加も大歓迎!**

公務員試験で毎年多数の高校生や大学生を現役合格に導いている「ライセンスアカデミー」が、公務員試験のエキスパート、田村行夫先生を講師に迎え「めざせ公務員! 合格必勝法!」と題し、公務員志望者向けのセミナーを開催します。参加無料・定員は30名です。お早めにご予約下さい。また個別でのご相談も随時受付中です。お気軽にご相談下さい。

日時 8月13日(日)15:30~18:00  
 会場 コラッセふくしま3階302会議室



**アットホームな結婚相談所「アルシェ ドゥ ノア」**

結婚相談所「アルシェ ドゥ ノア」  
 福島市太田町8-8  
 TEL080-1851-7826 (536-5036)  
 受付時間 10:00~19:00 (予約制)  
 HP http://k-archedenoe.com/

**初婚、再婚、シニアの方...お気軽にご相談ください**

会員様のご成婚を第一に考え、ご本人様やご両親様のご相談しやすいアットホームな雰囲気大切にしています。  
 私自身の子育てや仕事などの経験を基に、幸せになっていただけるよう、お一人おひとりに合わせて丁寧なカウンセリングをし、納得のいくまでサポート、どんなお悩みにも対応いたします。勇気を持ってご相談ください。  
 ・婚活イベントなども開催し、会員の皆様の出逢いの機会を応援します  
 ・お見合い用の写真撮影、身だしなみ、話し方などもマンツーマンでご相談に応じます  
 ・お見合いのセッティング、付き添い、交際中のお悩み相談などもお任せください  
 詳しくは当社のHPをご覧ください。お電話にてお問い合わせください。  
 代表 安田 紀子

**こちら中小企業相談所**  
 当所の中小企業相談所担当職員から、事業主の方に経営改善やお悩み解決にお役立ていただくための情報を提供するコーナーです。  
 ●今月は「創業スクール」のご案内です。気軽にご相談下さい。(平日9:00~17:00)  
 お問い合わせ TEL.024-536-3900

**福島商工会議所 福島創業スクール**

これから募集開始!  
 興味のある方は、お問合せ下さい。

**こんな方にオススメ!**

- ▶これから新規開業を本気で考えている方
- ▶すでに開業しているが、自分の商売をブラッシュアップしたい方

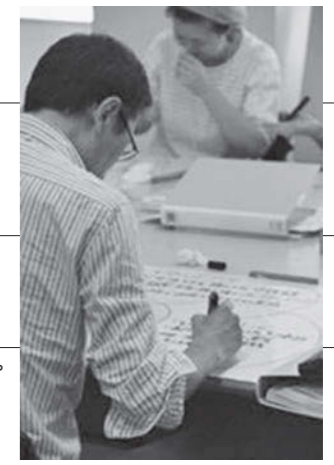
**創業スクール概要(予定)**

1. 開催日 下記カリキュラムの通り
2. 会場 福島商工会議所 会議室他
3. 定員 30名
4. 受講料 お1人様 21,600円(消費税含)
5. 主催 福島商工会議所



**カリキュラム(予定)**

第1講	9/23(土) 10:00~17:00	・開講式 ・創業の前に ・創業のビジョンとビジネスモデル ・ビジネスプランの作成準備
第2講	9/30(土) 10:00~19:30	・ビジネスプランをつくってみよう! ・地域の創業者による体験談 ・受講者交流会・情報交換会
第3講	10/7(土) 9:00~16:00	・マーケティングの基礎知識 ・営業・販売戦略
第4講	10/14(土) 10:00~18:00	・会計の基礎知識 ・税務・法務 ・資金調達と公的支援制度の活用
第5講	10/28(土) 9:00~16:00	・自分で作るチラシ作成 ・雇用、社会保険の基礎知識
第6講 最終講義	11/4(土) 10:00~17:00	・ビジネスプラン作成のワークショップ ・プレゼンテーション ・閉講式





## 前期比・今期業況のマイナス幅が拡大

今回の調査結果による管内中小企業の業況については、前期比、今期業況においてマイナス幅が拡大。来期においてほとんど業況が改善しないと予測されており、全国・東北でマイナス幅の減少が進む中、管内はますます先行きが見通せない状況にある。売上・採算についても全国・東北では改善傾向にあるものの、管内では需要の停滞や人手の確保難、原材料価格・下請単価の上昇といった経費の増加要因により減少・悪化が続いており、依然として企業環境は厳しい状況にあるものと考えられる。

調査項目	比較方法	D値/割合 (前回D値)	状 況
売 上	(前期比)	▲21.6 (▲19.7) ポイント	前期比1.9ポイント減
	(前期比)	▲21.8 (▲20.8) ポイント	前期比1.0ポイント減
業 況	(今 期)	▲10.3 (▲4.4) ポイント	前期比5.9ポイント減
	(来期予測)	▲10.0 (▲10.4) ポイント	前期比0.4ポイント増
採 算	(前年同期比)	▲31.5 (▲30.1) ポイント	前期比1.4ポイント減
	(来期予測)	▲29.1 (▲32.8) ポイント	来期はやや持ち直しの動き
設備投資 (実施した割合)		20.6 (25.0) %	前期から4.4%減
	(過剰)	3.1 (5.7) %	前期から2.6%減
従 業 員		33.0 (30.7) %	前期から2.3%増
	(不足)		

## 直面している経営上の問題点

業種	平成29年度第1期 今期 (平成29年4月-6月)		前期比
	順位	問題点	
製造業	1位	従業員の確保難	↗
	2位	原材料価格の上昇	↗
	3位	需要の停滞	↓
建設業	1位	官公需要の停滞	→
	2位	民間需要の停滞	↗
	3位	下請単価の上昇 従業員の確保難	↘ ↑
卸売業	1位	販売単価の低下・上昇難	→
	2位	需要の停滞	→
	3位	メーカーの進出による競争の激化	↑
小売業	1位	消費者ニーズの変化への対応	→
	2位	需要の停滞	→
	3位	従業員の確保難	↑
サービス業	1位	従業員の確保難	↑
	2位	利用者ニーズの変化への対応	↘
	3位	需要の停滞	↘



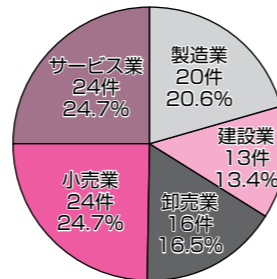
**中小企業 景況調査結果**  
調査対象期間  
平成29年4月～6月期

この調査は、福島商工会議所管内の景気動向を把握するために、四半期毎の景況を会員企業から回答していただき、集計値をDIで表示しているものです。次回は本誌の11月号でご報告します。

### [今期の調査概要]

福島市内会員事業所  
97社(回答率92.4%)

- ・製造業 20件
- ・建設業 13件
- ・卸売業 16件
- ・小売業 24件
- ・サービス業 24件



**「製造業界」のコメント**

- 業況は比較的安定していると思われる
- 復興需要のピークアウト、利幅の縮小。運送費・原材料に値上げの動きあり
- 原発事故の影響により、他の原発の稼働も押さえられ、当社の受注する物件に影響を及ぼしている

**「建設業界」のコメント**

- 平成29年度は前期の売上の半分位になるだろうと予測している

**「卸売業界」のコメント**

- 人員不足が続いている。求人応募も少ない状況である
- 食品の値上げが続き売上が低迷を伴っている。1人当たりの外食単価も低迷
- 2店舗開店により前年同期を上回る売上となっている
- 酒税法が6月1日に改正となり、業績が上がることを期待している
- 天候に非常に左右される業種なので、特に異常気象が多い昨今では見通しを立てづらい
- 地場の飲食店は大手チェーン店に押され気味である。地元の強みを発揮できていないように感じる

# 会議所のうごき

KAIGISHO NO UGOKI

**7月 5日～6日 金融相談会**  
中小企業者の中元資金等の金融ニーズに対応する相談会を、(株)日本政策金融公庫国民生活事業との共催により開催。両日で12名の方々が訪れ、マルケイ資金の他、各種融資制度に関する相談が寄せられた。

**7月 10日～15日 生活習慣病健診**  
会員事業所の事業主、従業員を対象に6日間にわたり当所会議室にて実施。120社より506名の方々が受診に訪れた。

**7月 11日 観光・交流委員会**  
21名が出席。今後の委員会事業として、11月に開催される「全国商工会議所観光振興大会2017 in前橋」へ当委員会として参加することなどを決めた他、本年4～5月に実施した「フランチで食ッポン」の実績報告を行った。協議終了後は、福島市商工観光部観光コンベンション推進室より、室次長清野良彦氏を始めとする各担当者をお迎えし、当市におけるインバウンドへの対応に関する現状や今後の展望等についてお話し、その後懇談した。

**7月 16日 ナツフェス**  
当所が事務局を務める「福島駅前元氣プロジェクト委員会」が主催。東口・西口駅前広

**7月 19日・26日 復興・創生委員会 都市づくり小委員会**  
当委員会では、「ふくしま将来ビジョン」実現に向けた福島市の課題である「中心市街地活性化」と「都市づくり」について、解決に向けた具体的なアクションプランを検討する小委員会を設置しており、本年度2回目となる小委員会を開催した。

会議では、各テーマについての具体的な取り組み方法等について、第1回目の協議内容をもとに協議を行い、それぞれのアクションプラン案をとりまとめた。

**7月 20日 金融業部会**  
29名が出席。今後の部会事業として、10月に福島県環境創造センター(田村郡三春町)、植葉遠隔技術開発センター(双葉郡植葉町)の視察を実施することなどを決めた。

協議終了後は、(公社)福島相双復興推進機構より専務理事角野然生氏をお迎えし、「被災事業者の自立支援に向けた取り組みについて」のテーマにてお話を伺った。

**福島県と建設事務所に対し 西道路などの整備を要望**

去る7月10日、当所は福島県、福島県北建設事務所に対し、地域経済の活性化や災害時対策、広域連携の強化などのため、国道13号西道路の北伸や新たな幹線道路の整備について要望しました。

渡邊会頭は西道路の北伸により物流向上や農業・工業振興の推進、中心市街地の交通渋滞の緩和などが期待できることや、吾妻山噴火など大規模災害時の対応策として国道4号東側バイパス、東西を結ぶ国道115号の新ルート整備の必要性を訴え、それぞれに要望書を手渡しました。



福島県大河原土木部長(左)に要望書を手渡す渡邊会頭



平成29年 100th Anniversary  
**目指せ、4,190会員！新会員のご紹介**  
 平成29年6月28日～7月26日のご入会会員をご紹介します。4,030会員(平成29年7月26日現在)

法人会員

事業所名	営業内容	所在地	TEL
(有)パセオ地所	不動産業	本町5-1	524-0074
(有)Pinky	美容室	南町183-1	546-3737
マックスバリュ南東北(株) ザ・ビッグ福島大森店	小売業	大森字城ノ内35-1	544-1144
(株)まるこうフーズ	仕出し、給食事業	鎌田字半在家6-1	553-8011

個人会員

事業所名	営業内容	所在地	TEL
菅野 稔久	建設業	野田町字上沼田51-2	090-9631-8790
なんぶカイロプラクティック	整体院	伏拝字台田1-9-2F	597-8965
BAEBER FOO	理容室	伏拝字田中29 南市民市場	502-6328
吉野基工	建設業	上鳥渡字しのぶ台31-1	090-5231-1173
リ・ハウス東北コーポレーション	建設業	鎌田字熊ノ前40-1	553-6733

お知り合いの方をぜひご紹介ください。引き続き新規会員募集中！  
 お問い合わせ先/商工サービス課 ☎572-7116



東北六県商工会議所  
 女性会連合会  
 米沢総会への参加

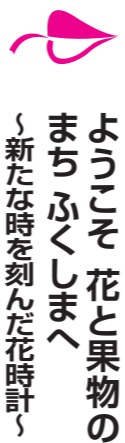
7月11日、山形県米沢市のグランドホクヨウにて東北六県商工会議所女性会連合会総会米沢大会が開催され、当会からは齋藤会長他10名の会員が参加して参りました。

総会では平成28年度事業報告・収支決算、平成29年度事業計画・収支予算案が承認されました。

引き続き、佐藤万里子連合会会長の挨拶で会員大会が開催され、当会の大内友子会員、佐藤隆子会員、宮崎悦子会員が第4条・5条の役員表彰を受章されました。

その後の講演会では、上杉家第17代当主の上杉邦憲氏による「上杉家の女性史」の演題にて講演をいただき、改めて福島県と山形県の歴史と深い繋がりを認識致しました。

最後の大懇親会では、山形大学花笠サークルによる花笠踊りが披露され会場は祭り一色になり、大いに盛り上がりました。



7月25日、福島駅東口駅前広場に、花時計がリニューアルオープンいたしました。

福島商工会議所創立100周年を記念し、皆様のご協力により、より大きく美しく生まれ変わりました。これも花時計に関わってこられた明成高校生徒さんを始め、関係各位の皆様の継続の賜物だと思っております。

そして今回は、100周年を記念し、デザインもそれに相応しいものになりました。100の文字が赤く、力強く植えられました。

今日から、次の100年に向けて、新たな時を刻んだ花時計。福島市民の憩いの場、待ち合わせの場として、愛され続けることでしょう。



リニューアルセレモニーの様子

7月定例会「ANB33」～ビジネスマッチング～を開催



▲グループワークでの一幕

去る7月20日(木)、コラッセふくしまにおいて7月定例会ANB33「Akasahi year New Business matching from the 33」(明石年度 青年部33期から始まるビジネス物語)と題した、当青年部メンバーによるビジネスマッチングを開催しました。この定例会は、会員メンバー同士が互いに企業

Young Entrepreneurs Group  
**OPICS**  
 青年部トピックス  
 URL <http://www.fyeg.jp/>

の業務内容を把握し、仕事上の繋がりを今以上に増やしていくことを目的に企画しました。

定例会を進行していくうえで6名1グループに分かれた班編成を組み、その中で企業名のみを伝え、どんな業種の企業なのかをメンバーにイメージしてもらったゲームを行い、そのイメージを受け、本実行している業務内容の説明や会社PRを発表いただきました。企業名からの連想される業種のイメージと実際の業務内容とで相当なギャップのある方もおり、時折出る笑いも印象的でした。

企業が抱えている仕事上での問題点や疑問点等を発表いただき、それに対して他業種からの視点でメンバーに意見をいただけたことにより、今後の取り組みに少しでもプラスになったのではないかと感じました。

今回の定例会をきっかけとし、青年部内のビジネスマッチングに繋がれば幸いです。今後より一層企業間の連携が深まることを願いまして、定例会の報告とさせていただきます。

(報告 安部委員会 安部 茂)



**福島県知財総合支援窓口**

県内唯一の知的財産に関するワンストップ無料相談窓口

**経営課題の解決は知財で**

窓口支援のポイント

- 1 支援担当者が悩みや課題を解決支援
- 2 必要に応じて専門家を活用
- 3 企業等での訪問相談も可能

弁理士による無料相談会のご案内(福島会場)

【開催日】平成29年9月12日(火)  
 【時間】9:00~12:00  
 【場所】福島県ハイテクプラザ 福島技術センター (福島市佐倉下字附の川1-3)  
 【申込先】024-959-3351 ※要予約 (福島県発明協会)  
 【今後の予定】11月7日(火)、12月12日(火)

電話: 024-963-0242 郡山市待池台1-12 福島県ハイテクプラザ2F  
 (独)工業所有権情報・研修館事業 実施: 一般社団法人福島県発明協会 <http://www.fukushima-i.org>



